



地域に対する当会の考え方

当会は、神奈川県内 JA 等が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念とする相互扶助型の農業専門金融機関であり、また、JA の組合員・利用者の繁栄と地域社会の発展に資するための地域金融機関です。

その資金は、大半が県内の JA にお預けいただいた組合員・利用者の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としています。また、皆さまからお預かりした大切な貯金は、資金を必要とする組合員・利用者の皆さまや、JA・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や地方公共団体などにご利用いただいています。

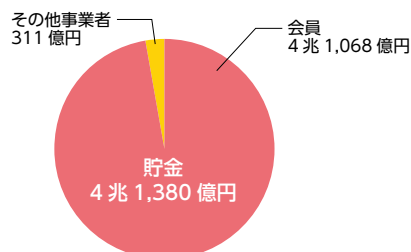
当会は組合員・利用者の皆さまの豊かな生活のお手伝いができるよう、JA との強い絆とネットワークを構築するとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境・文化・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に取り組んでいます。

地域からの資金調達の状況

当会の平成 27 年 9 月末の貯金残高は 4 兆 1,380 億円となっており、うち 4 兆 1,068 億円は神奈川県内 JA 等の会員からお預りしています。

また、JA バンク神奈川（当会ならびに県内 13JA の信用事業部門の総称）では組合員および利用者の皆さまの計画的な資産づくりをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の取り扱いをしています。



❖ JA トク農定期貯金・JA 介護貯金・福祉関連ローン（一部未取り扱いの JA あり）

JA バンク神奈川では、農業を営む方に対して有利な JA トク農定期貯金の取り扱いをしています。

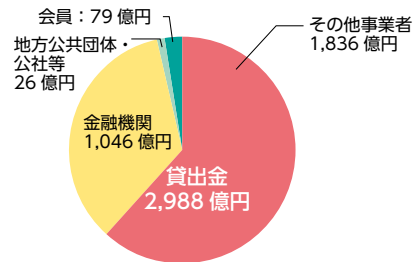
また、高齢者等福祉活動の一環として、要介護者を抱えるご家庭を支援する JA 介護貯金や、介護機器の購入等のための JA フリーローン（福祉口）、バリアフリー対策等のための JA 小口住宅ローン（福祉口）の取り扱いをしています。



地域への資金供給の状況

当会の平成 27 年 9 月末の貸出金残高は 2,988 億円となりました。このうち、農業関連資金としては、横浜市農業経営資金、かながわ都市農業推進資金等の取り扱いをしています。

また、JA 組合員の資産活用には賃貸住宅向け資金等の取り扱いをするとともに、地方公共団体や地元企業等のお取引先の皆さまには、各種使途に応じた資金の取り扱いをしています。



❖ JA バンクアグリサポート事業

JA バンクでは、日本の農業等に対してこれまで以上に踏み込んだ支援策を展開するとともに、自らの社会的使命に応えるため、JA バンクアグリ・エコサポート基金を設立し「JA バンクアグリサポート事業」を展開しています。

❖ 地域密着型金融への取り組み (中小企業等の経営改善および地域の活性化のための取り組みを含む)

○ 農業者等の経営支援に関する取組方針

当会では、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域の皆さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を役割とし、適正な業務の遂行に向け「金融円滑化にかかる基本方針」(当会 HP [中小企業者等金融円滑化への取組] 参照) に基づき実践しています。

【平成 27 年 9 月時点の金融円滑化実績】

(単位：件、百万円)

	実行件数	金 額
中小企業者	62	7,791
住宅資金借入者	23	374

○ 農業者等の経営支援に関する態勢整備の状況

当会では、農業事業者や中小事業者のお客さまに対する経営相談、経営改善支援等を適切に行うため、以下の態勢を整備しています。

- ① 金融円滑化対応部署を中心に、お借入条件の変更等を行ったお客さまの経営状況や、経営改善計画の進捗状況を継続的に把握し、必要に応じて経営改善または再生のための助言を行う等、お客さまへの支援について真摯に取り組みます。
- ② 経営相談、経営改善・再生のための支援能力向上のため、当会職員および JA グループ職員に対し、必要な研修・指導を行っています。
- ③ 農業者の経営支援については、外部機関（日本政策金融公庫等）との連携を行っているほか、農業者の資金ニーズに応えるべく JA グループ神奈川一体となった資金提供を行っています。
- ④ 経営者保証に関するガイドラインに対しては、内部規程等を定めガイドラインに則した対応を行っています。



❖ 農業担い手に対する支援

JA バンク神奈川では、多様な農業の担い手への支援策のひとつとして、農業関連ローンの借入負担の軽減を図ることでそれぞれの農業経営がより成長していくよう、「JA 農機ハウスローン」および「農業近代化資金」への利子補給等を通じてサポートを行っています。

また、将来の国内農業における担い手として期待される新規就農希望者（研修生）を育成するための研修を行う研修受入先への費用助成を通じて、新規就農希望者の独立就農を後押しすることにより、地域農業の振興・発展に寄与すべく取り組んでいます。

❖ 農業および地域社会に貢献する取り組みなどに対する支援

JA バンク神奈川では、当事業の一環として、次世代を担う子供たちに食農・環境保全の大切さを伝えるため、県下小学校 900 校の 5 年生約 80 千人に対し、教材本「農業とわたしたちの暮らし」を配布いたしました。

また、JA への費用助成を通じて、子供たちの食農教育へのサポートも行っています。あわせて、神奈川新聞社の環境月刊特集「環境リーフ」に協賛し、JA バンク神奈川の食農教育の取り組みを紹介するなど、消費者の農業への理解と関心を高めるための情報発信に取り組んでいます。

❖ 農業融資に対する取り組み

JA バンク神奈川では、組合員をはじめとする農業者に対し、農業専門金融機関として、きめ細やかな金融ニーズに応えることを目的に、JA 農機ハウスローンをはじめ各種農業資金による、農業者への金融支援に取り組んでいます。

また、平成 26 年 2 月の大雪による被害を受けた農業者を金融面から支援するため、JA・当会・神奈川県農業信用基金協会が連携して、無利息・無担保（原則）・保証料無料の資金を合計 48 件、519 百万円実行しました（平成 27 年 9 月末をもって取り扱いを終了）。

また、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金も取り扱っており、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

【参考】JA バンク神奈川の農業資金残高（平成 27 年 9 月末時点）

（単位：件、百万円）

区 分	件 数	金 額
プロパー資金	1,237	8,070
農業近代化資金	103	484
その他制度資金等	152	445
合 計	1,492	8,999

（受託貸付金）

区 分	件 数	金 額
日本政策金融公庫資金（農林水産事業）	255	2,565
その他	13	54
合 計	268	2,619



文化的・社会的貢献

❖ 各種相談会・セミナーの実施

JA バンク神奈川では、組合員および利用者の皆さまの計画的な資産づくり等をお手伝いさせていただくため、各種相談会・セミナーを開催しています。

相談会・セミナー名	平成 27 年度上期実績		
	実施 JA 数 *	開催会場	来場者数
住宅ローン相談会	12JA	350 会場	746 組
年金相談会	13JA	355 会場	2,082 名
年金・社会保険セミナー	5JA	23 会場	507 名
相続・遺言セミナー	7JA	39 会場	946 名
資産税セミナー	2JA	4 会場	62 名

*実施 JA 数は平成 27 年 9 月末を基準に記載しています。

❖ 利用者ネットワーク化への取り組み

JA バンク神奈川では、年金友の会等、組合員および利用者の皆さまの親睦や健康増進に向けた活動を行っています。

❖ 情報提供活動

JA バンク神奈川では、ホームページや情報誌「JA マネープランナー」等を通じて、最新の金融情報を提供しています。また、JA グループ神奈川が企画・提供するテレビ番組「かながわ旬菜ナビ」やラジオ番組「JA Fresh Market」および各 JA 独自の機関紙等によって、農業への理解浸透や地域に関する情報等を提供しています。

❖ 環境問題への取り組み

水源地域の環境保全に寄与することを目的とした「みどり・みらい・JA50 の森」の活動に協力するとともに、「かながわ水源の森林づくり」の募金活動や「かながわナショナルトラスト運動」にも協力しています。

< 環境配慮型住宅設備の設置にかかる助成金交付制度 >

JA バンク神奈川は、JA グループ神奈川のエネルギー問題に関する取組策の一環として、「JA 住宅・リフォームローンとくとくプラン」にかかる統一施策『環境配慮型住宅にかかる助成金交付制度』を平成 26 年 4 月より展開しています。

本制度は、太陽光発電システムのほか、HEMS（ヘムス）・エネファーム・長期優良住宅・神奈川県産木材など、環境配慮型住宅・設備の新規取得・設置にあたり、JA 住宅ローン等をお借入れいただく利用者に対して、JA が借入金額に応じて最大 25 万円の助成金を交付する制度です。

JA が負担する助成金相当額は信連が JA へ交付する仕組みとなっており、JA バンク神奈川一体となって環境配慮型住宅設備の設置を支援いたします。